

グループ紹介 ~新たな熊野町の魅力を再発見! 歴史や文化を分かりやすくご紹介!~

筆の都の案内人 『観光ボランティアガイド』



観光マップ作りのようす

第63号からシリーズで掲載している町内の様々なボランティアグループ、4回目となる今号では、「筆の都の案内人 観光ボランティアガイド」の活動をご紹介します。

この観光ボランティアガイドは、雇用促進協議会が平成18年度から厚生労働省の受託関連事業として実施している「地域提案型雇用創造促進事業」の中の「観光推進関連事業」から誕生しました。

活動としては、熊野の歴史や文化を踏まえ、「筆まつり」などの行事の際に、筆の里工房や郷土館、筆事業所などを訪れる方と一緒に散策しながら案内を行っています。

また、ガイドの経験を活かして、「熊野町観光マップ」の作成にも携わっています。今回は、この観光マップ作りにお邪魔させていただきました、お話を伺いました。

Q「観光ボランティアを行うに当って、大切にされていることは何ですか?」

A「堅苦しく考えず、気楽な気持ちで行うことが大事です」

「自分が楽しく、おもしろくできれば良いと思います」

「観光客から質問を受ける



3月に行われた「春の筆の里めぐり」

Q「ボランティアを始めようと思われたきっかけは?」

A「募集のチラシを見て、受講しようと思いました」

「熊野町のことをもっと知りたいと思って始めました」

Q「活動の感想は?」

A「知らない事はばかりで、新たな発見と驚きの連続です」

「モノの見方が変わってきました」

「多くの方に熊野へ訪れていただき、熊野のことをもっと知って欲しいです」

問い合わせ先
熊野町 地域振興課
電話 820015602

熊野町では、今年度も「筆の都の案内人養成塾」を実施します。

熊野町のことをもっと知りたい、観光ボランティアをやってみたい、多くの人と触れ合いたいと思われる方は、次の問い合わせ先までお気軽に連絡を。



黄色ジャンパーを着用してご案内

場合もあるので、歴史や文化などの勉強も必要です」

「新たな観光スポットも見つけていきたいと思っています」

観光マップ作りの最中、それも、当日は最終校正作業の中で、いろいろとお話を聞かせていただき、ありがとうございます。

次の定例会は、
6月11日(水曜日)
開会を予定しています

議会だより題字
世木田江山さん

表紙写真
入学式のようす
(熊野第一小学校)



あしがき

どんなに寒い冬も、過ぎればうそのように確実に春が来ます。つくしが出るころは、選挙だなど1年前を思い出したりします。枯れてしまったのかと思っていた鉢植えの雑木に、弱々しい新芽を見つけると、なんだかうれしくなってます。日本の4月はそわそわします。真新しいランドセルは、つい微笑んでしまう魔法があります。6年後の寄せ書きのために、大切に使用してほしいですね。

大瀬戸 宏樹